

○地域で育てる子どもたち ～2019 第 14 回香美町ふるさと教育交流会～



大好き♡みかた校



余部の昔あれこれ～有駅(益)な話～

11月17日、香美町ふるさと教育交流会が射添体育館で行われました。この交流会は、地域が子どもたちにふるさとの伝統・文化を伝え、地域の人々との触れ合いなどの感動体験についての発表や、各地域で取り組まれている青少年育成活動、PTA 活動を発表する場となっています。

今年度は、出石特別支援学校みかた校の紹介、町内 2 地区のふるさと学習体験発表(余部地区、日影地区)、町内高等学校(香住高校ボランティア部)、青少年・PTA 等(武勇田)のふるさと教育の取り組み発表が行われました。昨年度の高等学校の部は、村岡高校の取り組み(紙漉き班)を発表したとのことです。



日影伝統芸能「数珠引き」



香住高校 ふるさとに学び夢や志を実現させる



武勇田を通じた様々な交流

また、今回武勇田の小林様には、本校の棚田班のことも紹介していただきました。

本校は、地域創造系の授業や地域元気化プロジェクトの中でもふるさと教育の教材開発や紙漉き班の小学生へのふるさと教育、地域福祉班の射添小学校との交流等をはじめ、多くの活動が地域とともに実践されています。多くの活動が香美町のふるさと教育の一翼を担っているのだということを実感しました。

今後、本校に求められるもの、それは「地域資源を生かしたふるさと教育」であり、高校生がふるさとを学習しながら、小学校、中学校とも連携した活動を充実させていくことが大切なのだと感じました。